

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 泉崎 春海



平成26年夏休み号

No. 471

「成功体験」を味わえる夏休みを

副校長 井上 淳

毎年恒例、夏の名物である「小竹まつり」が盛大に行われました。保護者の皆様、地域の皆様には、ご多用のところ、本校へお越しいただき感謝申し上げます。

子供たちは、この「小竹まつり」を成功させるため、代表委員会をはじめ、各学級で話し合いを深めるなど、クラス一丸となって計画・準備をして本番に臨みました。そして、12日（土）は、どの催し物も大成功を収め、子供たちは達成感と成就感でいっぱい表情をしていました。まさに「成功体験」をした証です。



ここで言う「成功体験」とは、教師（大人）がサポートするものの、基本的に子供たちの力で取り組み、好結果を出すことです。

私は、小学4年生のとき、あるキャンプに参加しました。それまでの私は、物事に対して、やや控え気味に取り組むような性格でした。クラス内では、こうした性格でも、ほかの友達が積極的に何とかしてくれたのが現状でした。

しかし、キャンプの活動の中で、自分たちで課題に気付き、自分たちで解決策を考え、自分たちで行動することを通して、大きな自信が芽生えました。この経験の後、バス内でのレクリエーションの司会に立候補したり、代表者としてのあいさつの担当になるために進んで手を挙げたりするなど、完全に「やる気スイッチ」が入りました。もしかすると、調子に乗っていたのかもしれませんが、この変容には周囲の大人は驚いていたようです。

今、教師の立場、保護者の立場として、あの頃を冷静に振り返ると、「成功体験」は、子供の成長への大きな原動力になるものだと思えます。どんな小さな「成功体験」でも子供は伸びます。そして、保護者の方の知らないところで、お子さんは「成功体験」を積んでいるかもしれません。その場面は多様です。

さて、明日からいよいよ長期にわたる休みに入ります。この休みにぜひお子さんに「成功体験」を味わわせてほしいと思います。そして、9月1日、自信に満ちあふれた子供たちに会うことを楽しみにしています。

どうぞ、素敵な夏休みをお過ごしください。